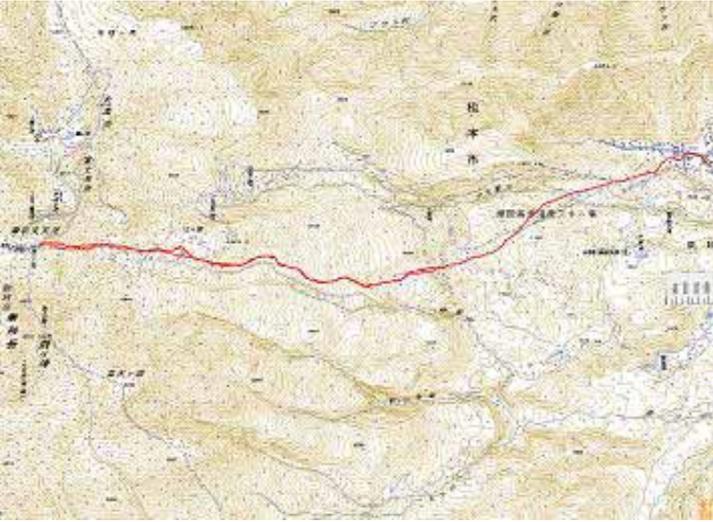


2 月度 ^{例会} _{個人} 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:トヨタ 中田さん メンバー; 15 名 * デンソーメンバー 塚本さん、神戸、 津田(記)
		報告日	03/25		
山 域	乗鞍高原	山行日	12 年 02 月 25 日(土)		
山 名	乗鞍岳				
山行目的	雪山を楽しむ(親睦); 全トヨタ合同隊		コースタイム(天候: 天気図記号)		

配布先
集会: 12
山行: 1
リダ-
原紙: 集
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 乗鞍岳

2/25 雪又は曇り
08:00 金山フツテ発
08:30 スキー場リフト
09:10 スキー場リフト最高点
09:20 出発
10:00 一本(10分)
10:40 位ヶ原付近一本(10分)
11:45 トイレ小屋一本(15分)
12:30 肩の小屋着
13:00 肩の小屋発
15:15 スキー場下山
16:00 金山フツテ着
☕ & 夕食・懇親会

2/26 曇り
9:00~11:00 スキー大会
11:45~13:00 昼食・表彰式

山行報告 全トヨタで乗鞍登山の混成隊を結成。総数、15名。登山リーダーはトヨタの中田さん。デンソーからは、OBの塚本さん、神戸君と私の3名。一番リフトに乗るべく、スキー組より早く8時に金山フツテを出発。寒さに耐えながら、リフトを乗り継ぎ、スキー場最高地点へ。スノーシューを装着し、雪面を早速に登り出す。今シーズン初のスノーシュー登山。年末の雪訓でバテた経験から、無理をせずマイペースでついていく。荷も軽く、雪の状態も良く快調だ。これで天気さえ良ければ・・・と思うが、曇り混じりの雪が降り、視界が悪い。15名の混成隊でもあり、後ろの方と離れてしまっている事もあり、無理をせずに一本。全員が登って来るのを待つ間に、数パーティが追い抜いていく。全員を確認し、一服おいて出発。トレースを忠実に辿って、位ヶ原付近と思える平坦部に出る。最後に到着した塚本さんが、「俺の頂上はここだ!」と、宣言して下山していく。残った14人で、上を目指す。ホワイトアウトで視界がきかず、赤布・テープ等を頼りに消えかけたトレースを辿る。1h程度、歩いてようやくトイレ小屋へ到着。強風を避けて小屋の風下で一本。神戸君が、「昨年、来た事があるから・・・」と、ここからトップで歩き出す。私も後に続くが、後続がついて来ない。あまり急ぎすぎて、後ろが見えなくなるのもやばい。「ゆっくり行こう!」と、声をかけるが、風にかき消されて聞こえないのか、寒さを避ける為か、どんどん登って行く。神戸君と後続の中間で、かるうじて見える距離を保ちながらついていく。うっすらと小屋らしきものが見えて、ホッとす。少し、右手に寄りすぎたものの肩の小屋へ無事、到着。強風で寒く、視界が全く見えない事と

13 時のタイムリミットで頂上まではとても無理の事から、今日は、ここまでと決断。13 時に下山開始。かすかに見えるトレースと赤布・テープを頼りに降りて行く。スノーシューでの下りは油断すると転倒。位ヶ原付近まで降りて、ようやく天気も薄明らくなってきた。スキー場、最高地点でスキー組と出会う。下りで歩きづらいスノーシューは外し、スキー場の端をつぼ足で歩く。下りは休憩する事もなく、金山フツテへ到着。ピッケル・アイゼンは持って行っただけの山行

25 日、スキー組もたっぷりゲレンデスキーを楽しみ、終了後には、温泉・懇親会を楽しんだ。

リーダー所見

作成(報告者) 津田

12.3.25

26 日はスキー大会を半日楽しみ、全トヨタスキー大会を無事終了。

確認(リダ-)